

**第480回 6月24日開催**  
**出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕	大村 英昭
木下 明美	倉光 弘己
黒田 勇	櫻井 美幸
深井 麗雄	森 輝彦

**テレビ・報道番組**

**「西日本8局特番」**

**『西日本が沈む日～巨大地震は必ず来る！』**

**03年5月 5日(月)午前10時20分～11時25分 放送**

**03年6月29日(日)深夜 0時30分～ 1時35分 再放送**

**\*荒巻委員**

災害報道番組は、誇張し過ぎても、遠慮し過ぎてもいけないと思うが、この番組はバランスも取れていて、防災意識を高めるという意味で評価できる作品だ。ただ、自治体の対策不足への突っ込みには物足りなさを感じた。もっと攻めの姿勢というものもほしかった。

**\*倉光委員**

地震に対する警告という点では、映像を非常にうまく使っていて効果はあったと思う。私は小学生時代に鳥取大地震の体験があるが、次のステップの番組として、地震に備えて行政はもちろん私たちは何をすべきか、過去の体験を年配者が語り継ぐという形の、魂を入れた番組を作ってほしい。

**\*黒田委員**

大災害に対してメディアは何ができるかと言えば、狼少年的な役割ではないだろうか。起こるぞ起こるぞと言い続けることによって世論を形成し、地震というものを、常に社会的な議題に載せておくことが大切ではないか。かと言って、常に叫んでいるということではなく、忘れるたびに思い出させるという役割を果たしてもらいたいのである。

**\*木下委員**

CGを駆使した画面にとってもリアリティーがあって、津波の恐ろしさを肌で感じる事ができた。内容的にも、いろいろなデータや数字に裏付けられていたが、やはり行政側の地震対策に甘さが見られるので、そのあたりをもっと突っ込んだ第2弾に期待したい。

### **\* 深井委員**

あれほどリアルな画面を見せつけられると、テレビと新聞の決定的な差を思い知らされた。ただ、1時間の番組の中で、すべてを盛り込むことは無理なので、シリーズでテーマ別に放送したらどうか。それも、視聴者の疑問に応える形で、継続して放送することがメディアとしての重要な役割だと思う。

### **\* 櫻井委員**

短い時間の中に、被害の予測や身近な対策などの情報がうまく整理されていたと思うが、南海地震についての基礎的な知識がないと、なぜという疑問符がつく場面もあったと思う。本当の意味で、防災意識を高めて行こうとすれば、やはりテレビ放送などを繰り返すことによる刷り込みが大切である。

### **\* 大村副委員長**

他の皆さんは、この番組を啓蒙という観点から言われているが、ドラマ性という点で言えば、まだまだ迫力不足である。日本人は何かにつけて依存傾向が強いが、地震対策に関しても誰かがしてくれるだろうではなく、行政に対してもっと強く働きかけていくべきだ。

### **\* 森委員長**

地震そのものによる大きな被害が出ている所に津波が襲ってきたら、どのように被害が広がるのか、もっと現実的な面も描いてほしかった。それと、阪神大震災の教訓が、津波による被害が予想される南海地震にそのまま生かされるのかという検証も必要だ。

5月に国会で成立した「個人情報保護法案」に対する民放連報道委員長のコメントと、6月に成立した「武力攻撃事態法」についての民放連の緊急声明について報道局長が報告した。